

目次

(1) 製品関連記事

▽「迷惑メールに注意促す／富士通コネクテッド」

(2) その他、各種関連記事

▽「街中のバリアー情報収集／日本大学」

(3) 新刊紹介

▽『日本障害児教育史 戦前編』

▽『大学生のADHD特性と進路決定に関する実証的研究』

(1) 製品関連記事

▼「迷惑メールに注意促す／富士通コネクテッド」

富士通コネクテッドテクノロジーズ製のシニア向けスマートフォン（スマホ）シリーズ新モデル「らくらくスマートフォン me F-03K」。大きな文字・ボタンなど見やすさや聞きやすさを重視した従来機の仕様を引き継いでおり、NTTドコモサービス「ドコモウィズ」の対象機種として販売する。

特殊詐欺など迷惑メールの可能性のあるメールを自動判定し、読む際に慎重な行動を促すメッセージを表示する機能を新たに搭載した。電話帳に未登録の相手から電話がかかってきた場合、迷惑電話対策を設定していることを音声ガイダンスで発信者側に伝えてけん制する機能も備えている。

操作方法などを専門のアドバイザーに無料で相談できる「らくらくホンセンター」にワンタッチでつながる専用ボタンや、本機の使い方を簡単に調べられるヘルプボタンを用意。調べ物に便利なカテゴリーを一覧で表示し、ボタンを選択することで目的の情報を見つけられる検索機能も搭載した。

本体は防水・防じん対応のほか、高温・低温動作などのタフネス性能も備え、キッチンや浴室、海、雪山などさまざまな環境で安心して使えるようにした。本体色は青、ゴールド、ピンク、黒の4種類。

(日経産業新聞 4月3日13面より抜粋)

(2) その他、各種関連記事

▼「街中のバリアー情報収集／日本大学」

街にある階段や段差、坂道といったバリアーは、車いす利用者にとって大きな障害となる。日本大学はスマートフォン（スマホ）を使って歩行データを解析し、街中のバリアー情報を集めるシステム作りに挑む。2020年までに東京都内のバリアフリー地図を作るのが目標だ。車いすでも、楽に外出できる未来の実現を目指している。

バリアーを見つけるために、歩行者が持つスマホの加速度センサーを活用する。そのデータから歩くスピードの変化を人工知能（AI）で解析し、階段や段差、坂道を特定する。

調査員が出向いて現場を調べるのに比べ、手間やコストを大幅に削減できるという。

18年度には実際に開発したシステムを使い、スマホを持つ人に施設内や駅周辺を歩いてもらいバリアー情報を集める予定だ。車いす利用者が多く務める企業と協力し、利用者ニーズを探る計画もある。

(日経産業新聞 4月5日5面より抜粋)

(3) 新刊紹介

▼『日本障害児教育史 戦前編』

近代以降の日本の障害児教育の歴史を辿り、それぞれの時代的与件において問題の所在と本質を探る。戦前編は、「野心的な近代的特殊教育構想と限定的な実施」「学校衛生の導入から健康教育への発展と特殊教育」などを収録。

編著：中村満紀男（なかむら・まきお）

発行：明石書店

本体価格：17000 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4615-1

▼『大学生の ADHD 特性と進路決定に関する実証的研究』

大学生の ADHD 特性の特徴を明らかにし、実践研究として進路決定を促す具体的支援を試みる既存の支援プログラムを ADHD のある学生用に改訂して、ワークショップを実施し、効果を検討する。

著：篠田直子（しのだ・なおこ）

発行：風間書房

本体価格：6000 円（税別）

ISBN：978-4-7599-2194-6

（編集後記）

3 月に大手の地図検索サービスが車椅子対応の検索機能を追加したと告知されました。経路の検索は目的地を入力した後、オプションで車椅子対応を選択すると、対応した経路が表示されます（実際の状況を反映していない場合があります）。日本では東京が対応しており順次拡充していくとのことですが、車椅子だけではなく、大きな荷物を持った方やベビーカーの方にも便利な機能となりそうです。（田窪友和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>